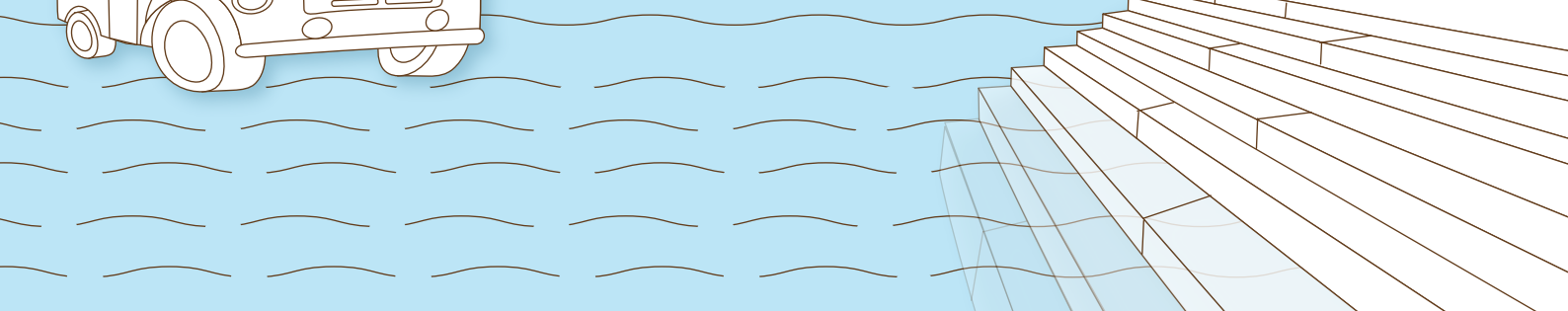
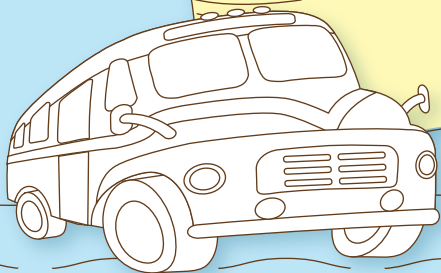


# 靱 まちづくり ビジョン



靱まちづくりビジョン  
ワークショップ



## 目 次

第1章	靱まちづくりビジョンについて	
1	靱まちづくりビジョン策定趣旨	1
2	靱まちづくりビジョンワークショップとは	2
3	靱まちづくりビジョン策定の経緯	2
第2章	靱の現状	
1	地勢	7
2	歴史・文化	7
3	人口	10
4	産業	10
5	社会基盤	12
6	教育・福祉	12
第3章	靱まちづくりビジョン	
1	まちづくりの目標	13
2	靱の将来像	15
	(1)安心・安全に暮らし続ける環境づくり	16
	(2)伝統・文化を受け継ぐ	19
	(3)出会い・ふれあい・支えあい	21
	(4)まちづくりの体制	24
	(5)実現を下支えする行政の対応	26
第4章	ビジョン実現に向けて ～次世代へのメッセージ～	33

### ■資料編

# 第1章 鞆まちづくりビジョンについて

## 1 鞆まちづくりビジョン策定趣旨

鞆町は、古く万葉の歌にも詠われ、中世からは潮待ちの港町として栄えてきました。自然と多くの文化財や歴史的建造物から成る町並みが一体となった景観を持つ、瀬戸内有数の景勝地です。歴史的な町並みと人々の暮らしが醸し出す癒しの風情や、四季を通じて行われる伝統的な祭りや催しは、多くの観光客をひきつけ、世界的に知られる観光地となっています。

他方、人口の減少とともに、空き家の増加や家屋の老朽化などにより、古い町並みは失われつつあります。また、人々が歴史と暮らしの中で守り育んできた祭事など伝統文化の継承にも影響を及ぼしています。

鞆を再生・活性化するためには、地域と行政が一体となって、町並みを保存するとともに、安心して暮らし続けていけるまちづくりをすることが必要です。また、鞆に暮らす人も鞆を訪れる人も笑顔で過ごせるように、暮らしと観光との調和を図る必要があります。

福山市は、1996年（平成8年）に策定した「鞆地区まちづくりマスタープラン」を指針とし、総合的なまちづくりを推進することとしていました。

しかし、2016年（平成28年）に、広島県と福山市は、マスタープランの柱のひとつとしていた鞆地区道路港湾整備事業における埋立申請を取下げました。

そこで、福山市は、鞆に暮らす人々と協力し合って取り組むことのできる、まちづくりの指針が必要だと考えています。

この「鞆まちづくりビジョン」では、鞆に暮らす人々が、自分たちの子や孫の世代に思いを馳せながら、誰もが安心して自分らしく暮らし活躍できるまちを自らの手で実現していくために、互いに共感し合える将来像を描きます。

「鞆まちづくりビジョン」とは、その実現のための具体的な地域主体の取り組みや行政からの支援、地域と行政とが協働する取り組みなどの方向性を示す、鞆の新たなまちづくりの指針として、福山市と鞆地区の住民に加えて、地区外に在住で鞆を愛する方々、若い人たちから高齢者までが一緒に策定するものです。

## 2 鞆まちづくりビジョンワークショップとは

鞆まちづくりビジョンワークショップは、鞆まちづくりビジョンの策定に向けた取り組みとして、2016年度（平成28年度）から、福山市が事務局となり、鞆学区まちづくり推進委員会の協力のもと、誰もが参加し、意見を出し合える場として開催したものです。

## 3 鞆まちづくりビジョン策定の経緯

ワークショップでは、鞆地区の住民に加えて、地区外に在住で鞆を愛する方々、若い人たちから高齢者までが、同じテーブルを囲んで討論を積み重ねました。

2016年度（平成28年度）には、5回のワークショップを開催して、鞆のよいところ、改善すべきところなどについて意見を出し合い、鞆まちづくりビジョンを作る上での項目を整理し、策定趣旨と基本的な考え方からなる「鞆まちづくりビジョン基本方針（案）」を作成しました。

2017年度（平成29年度）には6回のワークショップを開催して、基本方針（案）の基本的な考え方それぞれについて意見交換を行い、住民主体の取り組みや、それに対する行政の支援、住民と行政が協働して取り組むべきことなどの具体的な方向性を示した「鞆まちづくりビジョン」とりまとめました。

話し合いの経過は、ワークショップの各回ごとに、「いい鞆ニュース」として鞆町の各戸に配布しお知らせしました。また、ワークショップに参加できなかった方のために、「ご意見箱」を福山市鞆支所に設置して、まちづくりについてのご意見を伺いました。

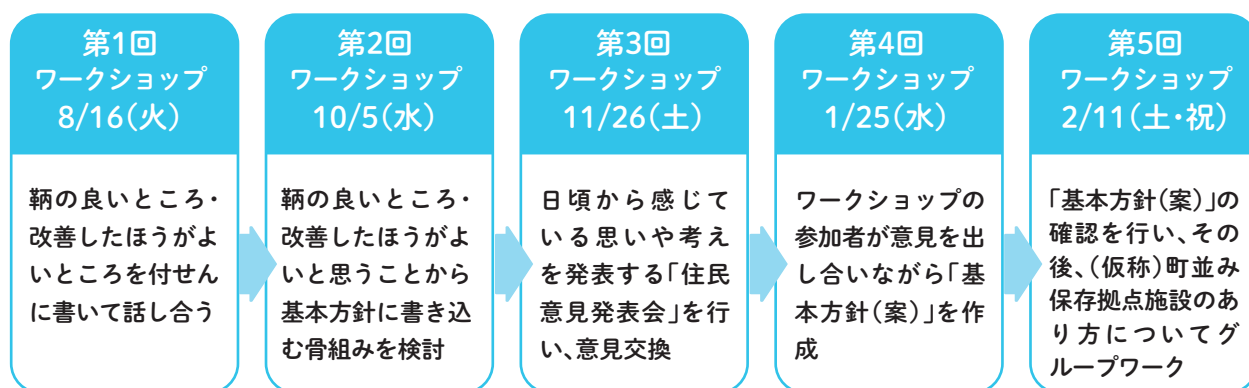
「いい鞆ニュース」によるワークショップの情報提供

# 靱まちづくりビジョン策定の経緯

【2016年度(平成28年度)】

靱学区まちづくり推進委員会の協力のもと、靱まちづくりビジョン策定に向けた取り組みを開始

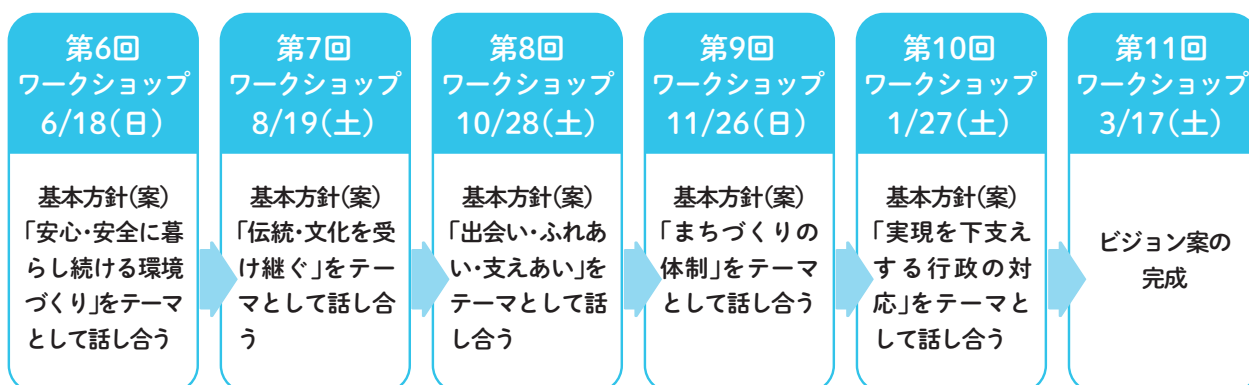
## 靱まちづくりビジョン策定に向けたワークショップを開催



## 靱まちづくりビジョン基本方針(案)の作成

【2017年度(平成29年度)】

## 靱まちづくりビジョン基本方針(案)を基に具体的な計画づくりを展開



## 靱まちづくりビジョンの策定

## ～ ワークショップで語られた鞆の人の思い ～

第1回ワークショップでは、“鞆のよいところ”、“改善するところ”として意見を出し合いました。鞆のよいところとして、「鞆は、ゆるやかなまちの流れがいいです。都会から人が来ると、鞆の時間の流れにみんな感動してくれます。」「みんなの顔がわかるコミュニティがあり、人情の厚いまちです。」「鞆は、子育てがしやすい環境です。ほかの地域から移り住んで来て、出産しても、暮らしやすいと感じています。」「鞆のまちにはお祭りがたくさんあります。お祭りのまちと言っても過言ではありません。鞆の人は、お祭りに行けないことを寂しいと感じるくらい、お祭りが大好きです。」などの意見があり、鞆で暮らす人は鞆のまちを愛し、町並みや風情を誇りに思っていることが分かります。

一方、改善するところとして、「少子化が進み、子育てが不安。」「静かに暮らしたい。」「文化財保護を急いで。」「高齢化による担い手不足。」「道路の改善、渋滞。」「災害時に弱い。」「空き家の活用。」などの意見があり、将来への不安、町並み保存やインフラ整備への願いがあることが分かります。

第3回ワークショップでは、住民意見発表会として、小学生、中学生から大人までさまざまな年齢の方に意見発表をしていただきました。発表を通して観光、住環境、伝統・文化、子育て、福祉など鞆のまちづくりを考える上でのさまざまなキーワードが浮かんできました。

### 第3回ワークショップ 住民意見発表会 発表タイトル

- ◆ 「私達のリアル～鞆中学生が考える鞆の未来～」
- ◆ 「鞆人とすてきふれ合い大作戦」
- ◆ 「鞆へ観光 行ってみＹＯ！！」
- ◆ 「癒しの観光で持続可能な鞆を！  
～世界中にファンを広げて、観光産業を育てよう！～」
- ◆ 「平地区に地域密着型ゲストハウスを」
- ◆ 「新しい住宅を建築する土地確保について」
- ◆ 「重伝建の選定を急げ 祭りと伝統芸能の継承」
- ◆ 「ノーマライゼーションのまち」
- ◆ 「鞆に住んで子育てをして」
- ◆ 「地域福祉」
- ◆ 「バス代について」
- ◆ 「鞆を災害に強いまちに」

■資料編に発表の内容を紹介しています。

## 第1回ワークショップでの各地区にお住まいの方からのご意見

### 御幸一・御幸二・御幸三 町内にお住まいの方のご意見

区分	よいところ	改善するところ
地域の繋がり	隣近所の和、子どもサポート	少子化、子育て環境に不安
生活環境	多世代で暮らしている	街灯、若者の流出、空き家
伝統・文化	歴史や祭りを大切に	文化財保護を急いで
風景	豊かな自然・景観	昔と一緒の鞆にこだわる
まちの風情	ゆったりと流れる時間	—
観光	観光地のよさを発信して	静かに暮らしたい
産業	—	(提案) 通勤の人を居住
防災	—	危機感がない
福祉	福祉・健康づくりが原点	—
活力	(提案) 古民家活用で雇用を	若者参加

### 原・鍛冶・祇園・石井・石井浜町内にお住まいの方のご意見

区分	よいところ	改善するところ
地域の繋がり	人情に厚い、子育てに良い	少子高齢化、度量が狭い
生活環境	大型トラックが入らない	夜が暗く店がない、下水道
伝統・文化	歴史・祭り・神事・伝統	—
風景	景色、海、町並み	—
まちの風情	のんびりした時間	—
観光	観光地	駐車場、トイレ、PR不足
防災	—	海・山からの災害
教育	—	高校がない
福祉	福祉が充実	—
活力	—	架橋に係る住民の対立
その他	鉄鋼団地に企業が多い	行政とのパイプがない

### 関北・関中・関南・道越・西町内にお住まいの方のご意見

区分	よいところ	改善するところ
地域の繋がり	面倒見、柄気質、親切	少子化で競争力がつかない
生活環境	大型車が通らず静か	交通渋滞、空き家、買い物
伝統・文化	資料館、歴史遺産、祭り	高齢化による担い手不足
風景	景観、港と古い町並み	電線が景観の邪魔
まちの風情	ゆるやかな時の流れ、自由	—
観光	—	総合的な政策がない
防災	—	命や財産を守る対策がない
教育	郷土愛創造の実践の場	—
活力	(提案) 世代別での話し合い	住民の意識、若い人の流出
その他	—	(提案) 目的をわかりやすく

### 江之浦北・江之浦中・江之浦南・江之浦元一・江之浦元町西・焚場 町内にお住まいの方のご意見

区分	よいところ	改善するところ
地域の繋がり	町内・近所仲よし、子育て	少子化進み子育てが不安
生活環境①	—	渋滞、交通、道が狭く危険
生活環境②	—	歩行者・自転車の安全
生活環境③	—	空き家、生活排水、広場
伝統・文化	祭りが多く、史跡が多い	蔵などが壊れたときの補助
風景	景色が良い、家の裏が海	浜が汚い、重伝建を早く
まちの風情	ふるさとという生活	—
観光	海の幸、行事をPR	駐車場、PR不足
防災	—	災害時に弱い
活力	仙酔島で海水浴とBBQ	(提案) 車に鞆ナンバー
その他	家の裏に船がおける	待たなしの状態

### 平一・平二・平三 町内にお住まいの方のご意見

区分	よいところ	改善するところ
地域の繋がり	異世代交流、町への愛着	移住者サポートの文書化
生活環境①	—	まず道路の改善、渋滞
生活環境②	—	空き家対策、買い物店不足
伝統・文化	伝統文化、祭りと継承	祭りの後継者不足
風景	景観	—
まちの風情	どの時間帯も人が出歩く	—
観光	—	食事処、トイレ、案内所
産業	—	漁師の後継者がいない
防災	—	平地区に避難場所がない
活力	—	将来が不安で若者が流出
その他	—	全体・地区別ビジョン必要

### 町外にお住まいの方のご意見

区分	よいところ	改善するところ
地域の繋がり	人情、旅人に優しい	—
生活環境①	—	道路事情
生活環境②	—	空き家の活用
伝統・文化	歴史的行事、お祭り	—
風景	景色、自然豊か、歴史	—
観光	—	トイレ、知名度の浸透、PR
防災	—	危機意識が低い

## 第1回 ワークショップ

大きな模造紙にたくさんの意見を貼り出しました



## 第3回 ワークショップ

住民意見発表会での  
小学生の発表の様子



## 第7回 ワークショップ

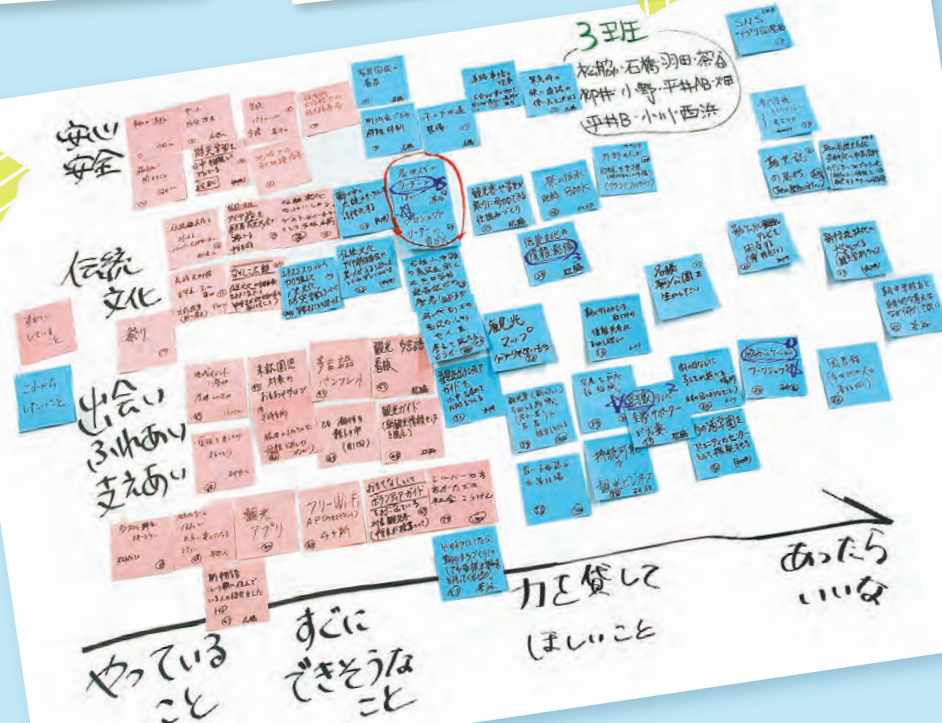
伝統文化についての  
小中学校の取り組み紹介



総合討論の様子



グループワークの様子





## 第2章 鞆の現状

### 1 地勢

鞆は、瀬戸内海に突き出た沼隈半島の東南端に位置しています。西部は急峻な山が連なり、東部は海岸線を形成し、その間の狭い平地に形成された市街地は、南北に細長く広がっています。

鞆港付近の海域には、仙酔島や弁天島、玉津島等の大小の島々が散在し、これらが海蝕崖をなす海岸線や雁木、常夜燈、波止などの港の風景とともに生み出す景勝は、名勝「鞆公園」や瀬戸内海国立公園として保護されています。



名勝「鞆公園」

### 2 歴史・文化

鞆は、古く万葉の歌にも詠われ、中世からは潮待ちの港として発展し、廻船問屋を中心に商業都市として繁栄しました。中心部には、その隆盛を物語る伝統的な町家や浜蔵が、現在でもなお多く残っています。特に、福山市鞆町伝統的建造物群保存地区内においては、元禄時代の「鞆町絵図」や「検地帳」に示されている町割りが現代へ良好に踏襲されており、その上に江戸時代からの歴史的な建造物が残る全国的にも珍しい港町の町並みを形成しています。

その周辺部においても、鞆町のほぼ全域において、昔ながらの狭い路地に面して時代時代の家屋が建ち並び、独特な風情を醸し出しています。こうした町並みは、鞆に住んでいる人や鞆を訪れる人に癒しを与えています。

2017年(平成29年)10月には、朝鮮通信使ゆかりの福禅寺の所蔵品がユネスコ「世界の記憶」に登録され、同年11月には、福山市鞆町伝統的建造物群保存地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されるなど、鞆の歴史的資産は国内外から高く評価されています。

鞆では、「お弓神事」、「お手火神事」、「淀媛神社の渡御・還御祭」など各種の祭りや、「観光鯛網」や「町並ひな祭」、「八朔の馬出し」などの伝統的行事が一年を通して各地区で行われています。



淀媛神社の渡御・還御祭



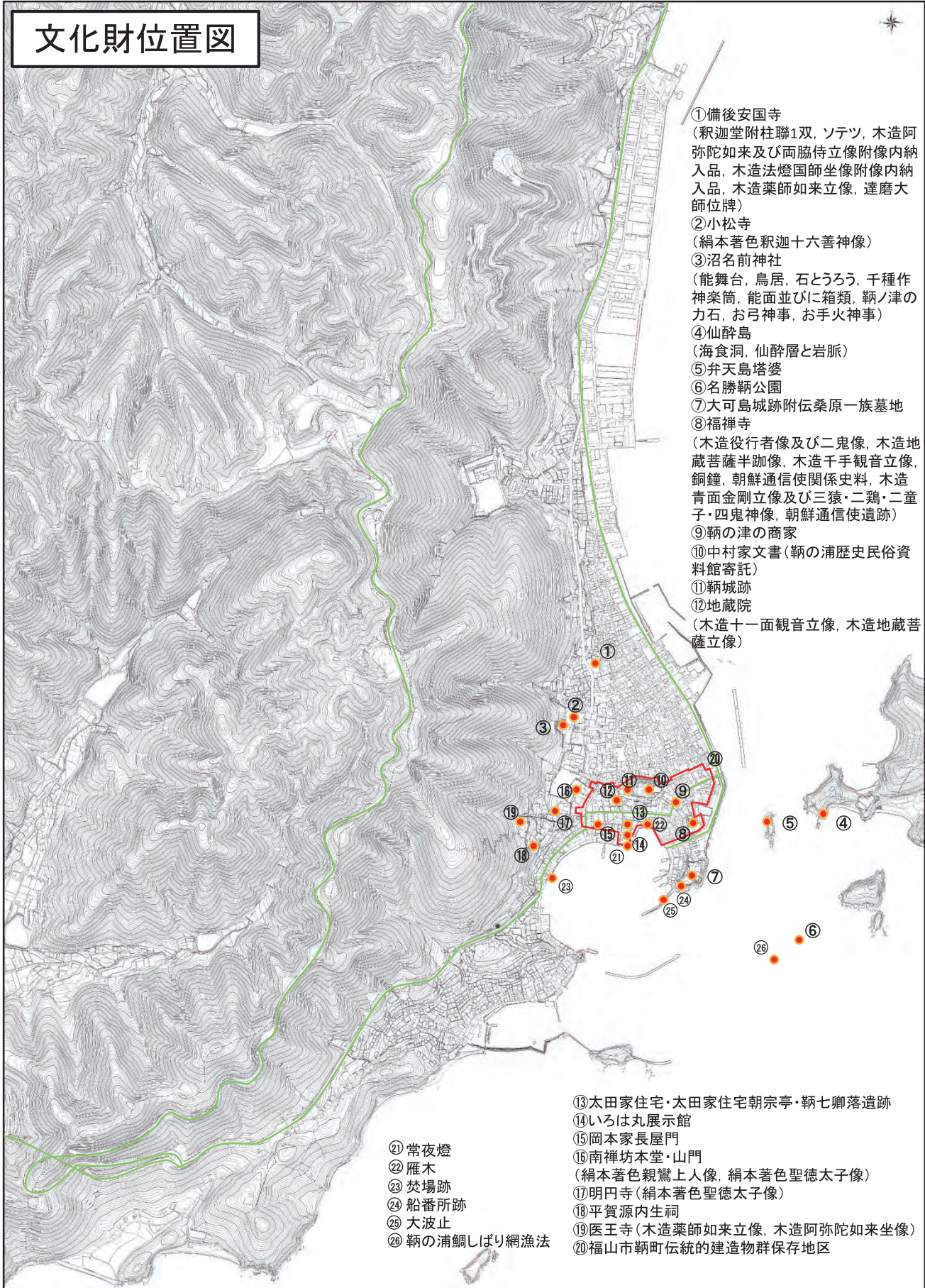
八朔の馬出し

## 鞆の文化財

(2017年(平成29年)12月26日現在)

番号	所在地	名称	種別	指定・登録区分
1	備後安国寺	安国寺釈迦堂 附 柱聯1双	建造物	国重要文化財
		安国寺のソテツ	天然記念物	県天然記念物
		木造阿弥陀如来及び両脇侍立像 附 像内納入品	彫刻	国重要文化財
		木造法燈国師坐像 附 像内納入品	彫刻	国重要文化財
		石造地藏菩薩坐像	彫刻	重要美術品
		達磨大師位牌	工芸品	県重要文化財
2	小松寺	絹本著色釈迦十六善神像	絵画	市重要文化財
3	沼名前神社	沼名前神社 能舞台	建造物	国重要文化財
		沼名前神社 鳥居	建造物	県重要文化財
		沼名前神社 石とうろう	建造物	市重要文化財
		千種作 神楽筒	工芸品	市重要文化財
		能面並びに箱類【翁面1面、面箱(蓋共)1個、外箱(蓋共)1個】	工芸品	市重要文化財
		鞆ノ津の力石	民俗文化財	市有形民俗文化財
		お弓神事	民俗文化財	市無形民俗文化財
お手火神事	民俗文化財	市無形民俗文化財		
4	仙酔島	仙酔島の海食洞	天然記念物	県天然記念物
		仙酔層と岩脈	天然記念物	県天然記念物
5	弁天島	弁天島塔婆(九層石塔婆)	建造物	県重要文化財
6	鞆公園	鞆公園	名勝	国名勝
7	大可島城跡	大可島城跡 附 伝桑原一族墓地	史跡	市史跡
8	福禅寺	木造役行者像及び二鬼(前鬼・後鬼)像	彫刻	市重要文化財
		木造地藏菩薩半跏像	彫刻	市重要文化財
		木造千手観音立像	彫刻	市重要文化財
		銅鐘	工芸品	市重要文化財
		福禅寺対朝楼朝鮮通信使関係史料	歴史資料	市重要文化財
		木造青面金剛立像及び三猿・二鶏・二童子・四鬼神像	民俗文化財	市有形民俗文化財
		朝鮮通信使遺跡 鞆福禅寺境内	史跡	国史跡
9	鞆の津の商家	鞆の津の商家	建造物	市重要文化財
10	歴史民俗資料館寄託	中村家文書	書籍	市重要文化財
11	鞆城跡	鞆城跡	史跡	市史跡
12	地藏院	木造十一面観音立像	彫刻	県重要文化財
		木造地藏菩薩立像	彫刻	市重要文化財
13	太田家住宅	太田家住宅	建造物	国重要文化財
		太田家住宅朝宗亭	建造物	国重要文化財
		鞆七卿落遺跡	史跡	県史跡
14	いろは丸展示館	いろは丸展示館	登録文化財	国登録有形文化財
15	岡本家長屋門	岡本家長屋門	建造物	市重要文化財
16	南禅坊	絹本著色親鸞上人像	絵画	市重要文化財
		絹本著色聖徳太子像	絵画	市重要文化財
		南禅坊本堂・山門	登録文化財	国登録有形文化財
17	明円寺	絹本著色聖徳太子像	絵画	市重要文化財
18	平賀源内生祠	平賀源内生祠	史跡	県史跡
19	医王寺	木造薬師如来立像	彫刻	県重要文化財
		木造阿弥陀如来坐像	彫刻	市重要文化財
20	鞆町	福山市鞆町伝統的建造物群保存地区	伝統的建造物群保存地区	国重要伝統的建造物群保存地
21	常夜燈	常夜燈	港湾施設	(歴史的港湾施設)
22	雁木	雁木	港湾施設	
23	焚場跡	焚場跡	港湾施設	
24	船番所跡	船番所跡	港湾施設	
25	大波止	大波止	港湾施設	
26	鯛網	鞆の浦 鯛しばり網漁法	民俗文化財	

# 文化財位置図



- ①備後安国寺  
(釈迦堂附柱聯1双、ソテツ、木造阿弥陀如来及び両脇侍立像附像内納入品、木造法燈国師坐像附像内納入品、木造薬師如来立像、達磨大師位牌)
- ②小松寺  
(絹本着色釈迦十六善神像)
- ③沼名前神社  
(能舞台、鳥居、石とうろう、千種作神楽筒、能面並びに箱類、鞆ノ津の力石、お弓神事、お手火神事)
- ④仙酔島  
(海食洞、仙酔層と岩脈)
- ⑤弁天島塔婆
- ⑥名勝鞆公園
- ⑦大可島城跡附伝桑原一族墓地
- ⑧福禅寺  
(木造役行者像及び二鬼像、木造地藏菩薩半跏像、木造千手観音立像、銅鐘、朝鮮通信使関係史料、木造青面金剛立像及び三猿・二鶏・二童子・四鬼神像、朝鮮通信使遺跡)
- ⑨鞆の津の商家
- ⑩中村家文書(鞆の浦歴史民俗資料館寄託)
- ⑪鞆城跡
- ⑫地藏院  
(木造十一面観音立像、木造地藏菩薩立像)

- ⑲常夜燈
- ⑳雁木
- ㉑焚場跡
- ㉒船番所跡
- ㉓大波止
- ㉔鞆の浦鯛しばり網漁法

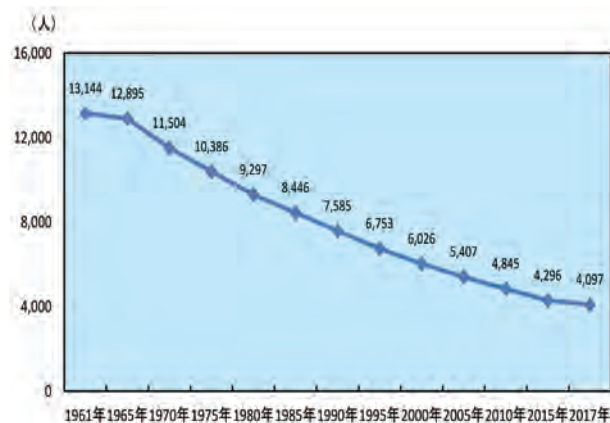
- ⑬太田家住宅・太田家住宅朝宗亭・鞆七卿落遺跡
- ⑭いろは丸展示館
- ⑮岡本家長屋門
- ⑯南禅坊本堂・山門  
(絹本着色親鸞上人像、絹本着色聖徳太子像)
- ⑰明円寺(絹本着色聖徳太子像)
- ⑱平賀源内生祠
- ⑲医王寺(木造薬師如来立像、木造阿弥陀如来坐像)
- ⑳福山市鞆町伝統的建造物群保存地区

### 3 人口

韮町の人口は、1985年（昭和60年）から2017年（平成29年）までの32年間で、総人口が約2分の1へ減少する中で、とりわけ、若者世代の減少が著しい状況にあります。

人口減少に伴い、2007年（平成19年）の調査では、韮町全体で約4分の1の家屋が空き家や空地となっています。路地が狭く、家屋が密集しているため、老朽空き家の解体やリフォームが難しい、駐車スペースが確保できないなどの課題があります。

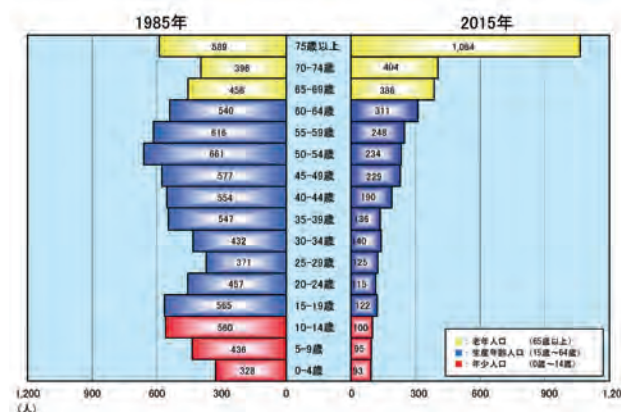
● 韮町の人口推移



1975年までは各年4月1日時点の人口、以降は各年3月末日時点の人口(人)

資料：住民基本台帳

● 韮町の年齢階層別人口構造



各年9月末日時点の人口構造(人)

資料：国勢調査

### 4 産業

商港として栄えた頃の伝統を受け継いだ鉄鋼業や醸造業の外、近年は、県内外での知名度向上による観光客の増加に伴い、宿泊業や飲食業等観光客を対象とした産業が広がっています。一方、旧来盛んであった漁業は後継者の不足等により、従事者が減少しています。

また、韮町内での雇用機会が乏しいため、若者を中心に福山市中心部等へ仕事を求めています。

韮では、住民による観光ボランティアガイドの活動が盛んであり、韮を訪れる多くの観光客がガイドの説明を聞きながら韮のまちを散策しています。



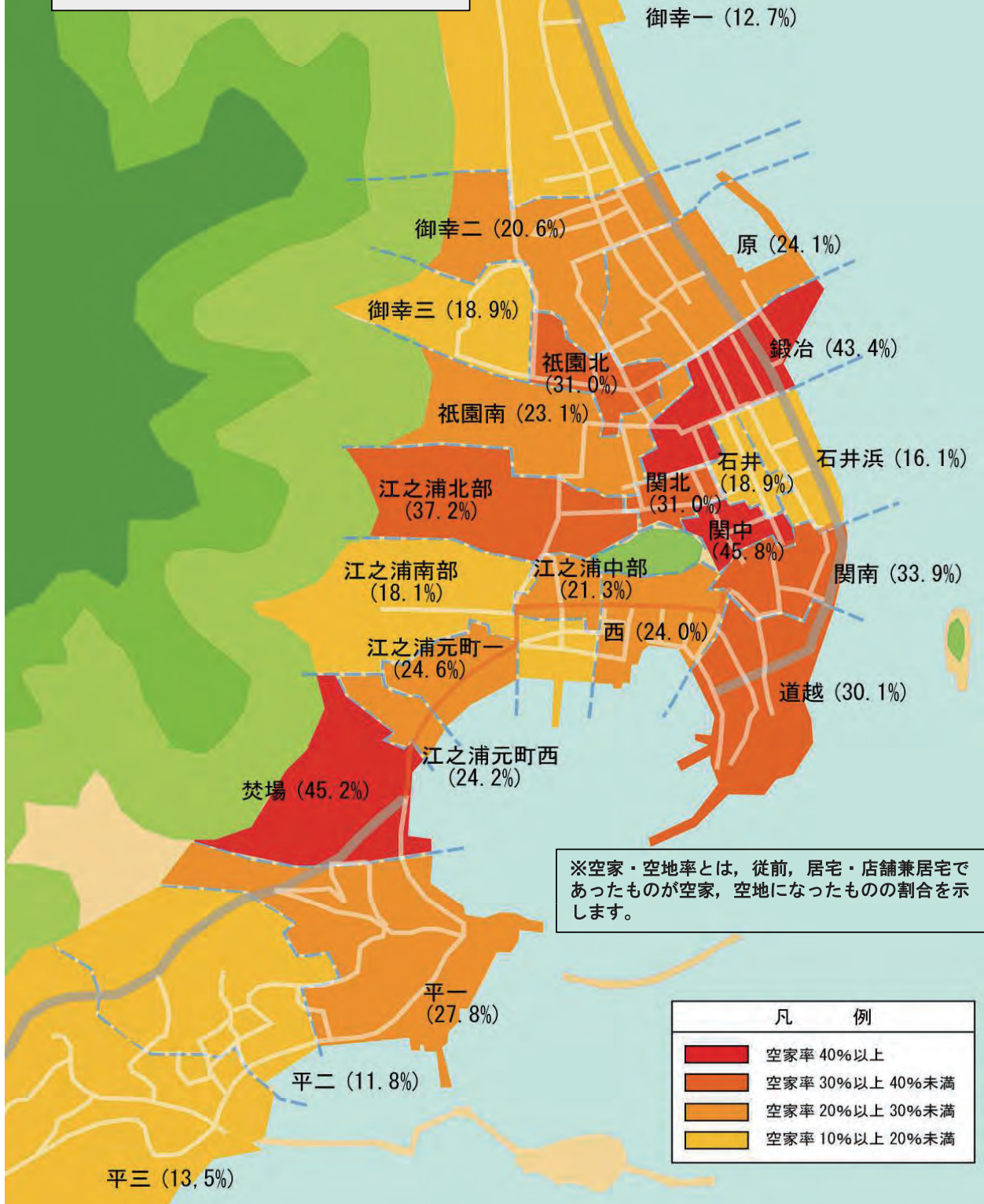
観光鯛網



観光ボランティアガイドによる観光案内

## 鞆町における空家状況【町内会別空家・空地率】

空家・空地実態調査:2007年(平成19年)6月



### 【空家・空地調査方法】

町内の皆さまのご協力により、現地確認や所有者及び近隣住民の方への聞き取り等により、現状で空家のものに加え、従前、居宅や店舗兼居宅であった空地について調査いたしました。

## 5 社会基盤

鞆の道路は、県道 鞆松永線、福山鞆線、市道 鞆幹線の一部区間が拡幅整備されているのみで、古くからの地割をそのまま残す生活道路は、三叉路やクランクが多いうえ、幅員も狭小です。

市街地内には、生活交通に加えて通過交通（鞆を通過するだけの交通）や観光交通が流入し、車両は民地や家屋の軒下を利用するなどにより離合せざるを得ず、しばしば交通渋滞が生じています。

これにより、歩行者は、車を路肩や民地で避けながら通行せざるを得ず、また、救急車などの緊急車両の通行にも支障を来すことがあります。

また、鞆のまちは、木造建築物が密集しており、火災・地震等の災害時には、多くの家屋が延焼、倒壊する危険性があります。山際では土砂災害、海辺では護岸の未整備区間において高潮被害の危険性があるなど災害に弱い都市構造となっています。

鞆町内の下水道整備は、中心部の県道鞆松永線の北側地域及び道越地区が下水道事業認可区域となっており、2017年（平成29年）末で、県道福山鞆線の幹線整備が概ね完了したところです。しかし、鞆町における整備率は低く、雑排水のほとんどは未処置のまま直接海に排水されています。



町中の渋滞の様子



台風時の高潮対応の様子

## 6 教育・福祉

鞆小学校と鞆中学校は、9年間を通して鞆についての学習を行うとともに、琴や太鼓でイベントを盛り上げたり、ボランティアガイドなどで鞆の魅力を発信したりと充実した郷土教育の場であり、地域の中で大きな役割を担っています。

幼保連携型の鞆こども園は、さまざまなイベントに参加するなど、地域に深く根ざし、また、子育て支援にも力を入れるなど地域の子育て環境を支えています。

2011年度（平成23年度）の鞆小学校の児童数145人、鞆中学校の生徒数62人に対して、2016年度（平成28年度）の小学校の児童数は119人、中学校の生徒数は54人と減少傾向にあります。福山市は、教育環境の維持・充実のために、小中一貫9年制の義務教育学校「（仮称）鞆の浦学園」（2019年（平成31年）4月開校予定）の整備を進めています。

また、2017年（平成29年）9月末現在、65歳以上の人口比率は概ね45%と高齢化が進んでいる地域です。高齢者の見守り、ふれあいや相談の場づくりを地域が主体となって取り組んでいます。

## 第3章 鞆まちづくりビジョン

### 1 まちづくりの目標

鞆の現状を踏まえ、鞆の将来を見据えた「鞆まちづくりビジョン」の策定趣旨とビジョンの基本的な考え方について、ワークショップで話し合い、「鞆まちづくりビジョン基本方針(案)」を定めました。

「鞆まちづくりビジョン基本方針(案)」における「基本的な考え方」の5つの項目をまちづくりの目標とします。

#### まちづくりの目標

<p>(1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり</p>	<p>① 子どもから高齢者、障がいのある人も安心・安全に暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。</p> <p>② 空き家対策、雇用の創出、日常の買い物の場など、暮らしやすいまちづくりを進めます。</p> <p>③ 災害に備え、防災意識を高め、住民どうしの助け合いを大切にするとともに、避難場所・経路や緊急車両の通行の確保、自助・共助による防災体制の強化を含めた防災・減災対策を行います。</p>
<p>(2) 伝統・文化を受け継ぐ</p>	<p>① 鞆の歴史的・文化的価値の認識を共有し、町並みの保全をはじめとした文化財の保存・活用を図ります。</p> <p>② 重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする鞆の歴史・文化の情報を発信します。</p> <p>③ 住民どうしを繋ぐ伝統行事である祭りを継承します。</p>
<p>(3) 出会い・ふれあい・支えあい</p>	<p>① 地域の繋がりを活かし、誰もが自分らしく輝き活躍できるまちづくりを進めます。</p> <p>② 子育てしやすいまちづくりを通じ、将来の鞆を担う子どもが地域に愛着を持ち、夢を育み育つことのできる環境をつくります。</p> <p>③ 鞆に暮らす人も訪れる人も快適に過ごし、多様性を認めあうまちづくりを進めます。</p>
<p>(4) まちづくりの体制</p>	<p>① 子どもたちから高齢者までの各世代、また、組織、団体など多様な主体が連携したまちづくりを進めます。</p> <p>② 鞆の未来のために、鞆の浦学園、鞆こども園を大切なまちづくりの主体として位置付けます。</p> <p>③ 鞆まちづくりビジョン実現のための体制や役割を明確にし、短期的な取り組みと中長期的な取り組みを計画的に行います。</p>
<p>(5) 実現を下支えする行政の対応</p>	<p>① 歩行者と車、自転車、バイク等が安全に安心して通れる生活道を含む交通システムを構築します。</p> <p>② 良好な保育・教育環境の形成や、地域活動拠点の整備、遊休公共施設の活用などを通じ、まちづくりの仕組みづくりを支援します。</p> <p>③ 高潮や土砂災害等の自然災害への備えや、防災体制の維持・強化など、行政が住民と協働して行うべき防災対策を計画的に行います。</p> <p>④ 鞆の人々が安心して暮らせるインフラ整備を推進します。</p>

※「鞆の浦学園」は、鞆小学校と鞆中学校が統合してできる小中一貫の義務教育学校です。

## 鞆まちづくりビジョンの全体像

まちづくりの目標のうち、「(1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり」、「(2) 伝統・文化を受け継ぐ」、「(3) 出会い・ふれあい・支えあい」をまちづくりの目標の三本柱とし、それぞれの項目に関して、個人、組織や団体が、さまざまな取り組みを行っています。

それらの取り組みが効果的、効率的に行われるためには、活動支援、連携・調整、情報の共有と発信などを行うための基盤となる「(4) まちづくりの体制」が重要な役割を持ちます。

行政は、鞆まちづくりビジョンの実現に向けて、地域のさまざまな取り組みや課題の解決を協働で進めるとともに、施策や事業で下支えします



鞆まちづくりビジョンの全体像



## 2 鞆の将来像

まちづくりの目標の5つの項目それぞれについて、鞆がめざす地域の将来像（ビジョン）を定めます。

### まちづくりビジョンの構成

まちづくりビジョンは、5つの項目からなるまちづくりの目標と、目標を具体化した■まちづくりの方針、それを実現するための<行政の下支え>という構成とします。

<まちづくりの目標とまちづくりの方針の見方>

#### まちづくりの目標（例）

(1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり

- ① 子どもから高齢者、障がいのある人も安心・安全に暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。

#### まちづくりの方針

■まちづくりの方針 … 主に地域が中心となって、または、地域と行政が協働して取り組む方針を表しています。

<行政の下支え> … ビジョンの実現に向けて、地域の取り組みを下支えする行政の施策や事業を表しています。

## (1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり

日々の見守りなどを通して不安や孤独を感じないという心の安心、交通事故や災害から命を守ることができるという身体の安全、また、守り継がれてきた自然や町並みの景観、近所づきあいなど変わらない環境の中で暮らすという心の安らぎ、暮らしの中でこれらの3つのことを実感できる安心安全な環境をつくります。

また、暮らし続けられる龍のまちにするために、観光や事業を通じて、賑わいの場、働く場をつくとともに、空き家対策などを進め、若い人が龍で暮らし続けたい、龍に住んでみたいと思えるような住宅環境や教育文化環境をつくります。

### ① 子どもから高齢者、障がいのある人も安心・安全に暮らし続けることのできるまちづくりを進めます。

#### ■見守りのまちづくり

登下校時の見守りや日常の声かけ、放課後・休日等の子どもの居場所づくりなど地域全体で子どもを見守ります。また、年をとっても孤立せず安心して暮らせるよう、子どもたちを含めた地域全体で高齢者を見守ります。

<行政の下支え>

- ・民生委員、児童委員制度により地域住民と行政を結びます。

#### ■安全な道づくり

龍の道、路地は、生活の場であるとともに、ふれあいの場でもあります。道行く人の安全が確保できるように、注意喚起や交通ルール遵守の啓発を行うとともに、行政と連携して町中の交通量を減らします。

<行政の下支え>

- ・車両がすれ違うことができるように道路の拡幅や待避所の設置、無電柱化などを行います。
- ・町中の交通量を減らすために、駐車場の整備、グリーンライン・スカイラインへの観光車両の誘導などを行います。

#### ■自然と町並みの景観を大切にすまちづくり

背後の山や島の風景といった自然景観や町並み景観を守るために美化活動を行うなど、きれいなまちづくりを進めます。

<行政の下支え>

- ・港の景観に配慮した海岸保全施設を整備します。
- ・港内および周辺水域における水質の保全と管理を行います。

## ② 空き家対策、雇用の創出、日常の買い物の場など暮らしやすいまちづくりを進めます。

### ■ 空き家を活かすまちづくり

地域の交流スペース、事業者や移住者の受け入れ場所として空き家の利活用を進めます。

<行政の下支え>

- ・空き家バンクなど地域の取り組みを支援します。
- ・老朽化した危険な家屋の除却を支援します。
- ・空き家についての相談窓口として、広島県宅地建物取引業協会との協力体制を構築します。

### ■ 賑わいの場づくり

町内外の事業者や行政と連携して日々の暮らしを支えるとともに、鞆の魅力や資源を掘り起こして、賑わいの場、働く場をつくります。

<行政の下支え>

- ・経営相談窓口 Fuku-Biz（フクビズ）などにより移住・起業を支援します。
- ・産業振興に関する各種支援・助成施策の情報を提供します。
- ・遊休施設の活用を支援します。
- ・港湾施設の整備を進めます。

### ■ 暮らし続けられる住環境づくり

若者世代が鞆に住み続けられる、また、町外の人が鞆を移住先として選びたいくなるような住宅環境や教育文化環境づくりを進めます。

<行政の下支え>

- ・公共下水道整備を計画的に進めます。
- ・市営住宅の計画的な建替えや整備を行います。

- ③ 災害に備え、防災意識を高め、住民どうしの助け合いを大切にするとともに、避難場所・経路や緊急車両の通行の確保、自助・共助による防災体制の強化を含めた防災・減災対策を行います。

### ■災害に強いまちづくり

いつ起きるか分からない自然災害に備えて、地区防災計画の作成や防災訓練の実施など地域の防災体制づくりに取り組み、災害発生時には関係機関と連携して、すみやかに被災者の支援や要援護者の援護などができる災害に強いまちづくりを進めます。

<行政の下支え>

- ・地区防災計画の作成を支援します。
- ・木造住宅に対する耐震診断費の補助、耐震改修費の補助を行います。
- ・防災広場や防火水槽など防火施設、設備の整備を進めます。
- ・緊急車両の通行確保、高潮対策や土砂災害対策などの防災インフラ整備を進めます。



## (2) 伝統・文化を受け継ぐ

鞆の町並みが国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、また、朝鮮通信使ゆかりの福禅寺の所蔵品がユネスコ「世界の記憶」に登録されるなど、鞆の歴史・文化は、鞆の人の誇りであり、その価値は全国的にも認められつつあります。

町並みをはじめとする文化財等の保存に地域一体で取り組むとともに、鞆の歴史・文化を学び、観光ボランティアガイドの取り組みを広げるなど教育や観光に活かします。

また、歴史・文化に関する話題や情報を、国内外に広く発信することで、知名度向上を図り、観光客増加による賑わいを生みます。

さらに、地区どうしの繋がりや世代間の繋がり原点である祭りや伝統行事を継続し、子どもたちや若者へ役割を与え、将来の担い手として育てていきます。

### ① 鞆の歴史的・文化的価値の認識を共有し、町並みの保全をはじめとした文化財の保存・活用を図ります。

#### ■歴史・文化を活かすまちづくり

鞆の歴史・文化は、鞆の人の誇りであり、全国的にも価値があるものと認識して守っていきます。

伝統的建造物等の修理・修景を基本とする町並みの保存をはじめ文化財等の保存・活用に地域一体で取り組みます。

歴史民俗資料館など町並み保存の拠点となる施設を活用して、鞆の歴史・文化を学習する機会を増やして、観光ボランティアガイドの取り組みを広げるなど、歴史・文化を教育や観光に活かしたまちづくりを進めます。

#### <行政の下支え>

- ・町並み保存に関わる補助制度により建造物等の適切な修理・修景を支援するとともに、建築基準法の適用を緩和します。
- ・歴史的建造物や港湾施設の調査や修繕など文化財保護に取り組みます。
- ・町並み保存の拠点となる施設を整備します。
- ・町並み保存組織の活動を支援します。



② 重要伝統的建造物群保存地区をはじめとする鞆の歴史・文化の情報を発信します。

■情報発信するまちづくり

「歴史と文化のまち“鞆”」の知名度向上をめざして、国の重要伝統的建造物群保存地区の選定やユネスコ「世界の記憶」の登録など歴史・文化に関する話題や情報を広く国内外へ発信します。

<行政の下支え>

- ・重伝建や港湾施設などの案内板・説明板を整備します。
- ・重要伝統的建造物群保存地区の選定、ユネスコ「世界の記憶」の登録など歴史・文化をテーマとした話題を国内、海外へ向けて情報発信します。

③ 住民どうしを繋ぐ伝統行事である祭りを継承します。

■伝統・文化を継承するまちづくり

鞆の祭りや行事は、地区どうし、また、世代間の繋がり原点です。祭りや伝統行事を継続するとともに、交流の場を通して子どもたちや若者へ役割を与え、将来の担い手として育てます。

また、伝統・文化の継承の手助けとして、祭りや伝統行事を記録、保存していきます。

<行政の下支え>

- ・祭り・行事など地域イベントの開催を支援します。
- ・伝統・文化を学習するために総合的な学習の時間を活用します。
- ・祭りや伝統行事の記録、保存及び発信の場として歴史民俗資料館などを活用します。



### (3) 出会い・ふれあい・支えあい

鞆に住む人、鞆で働く人など鞆で暮らす人どうしが行事や祭りなど交流の場を通して出会う、また、観光や仕事で鞆を訪れる人が鞆の人と出会う、こうした出合いを大切にして、人と人の繋がり、人と鞆のまちとの繋がりを生みます。

人と人がゆずりあい、認めあいの気持ちを持ってふれあうことで絆が深まり、人とまちが繋がることでまちへの愛着が深まります。こうした地域の繋がりを深めることで、高齢者や子育てにやさしいまちをつくるとともに、鞆のまちに愛着を持つ人を増やしていきます。

鞆に暮らす人一人ひとりが、まちづくりやまちの魅力発信における役割を持ち、培ってきた経験や能力をまちづくりに活かします。

また、鞆のまちには「おもてなしの心」があふれています。まちの雰囲気と暮らす人の生活を大切にしながら、人を温かく迎えるやさしいまちにします。若い人が増えれば、地域の活力、地域の支えが大きくなります。魅力ある子育て環境をつくるとともに、「おもてなしの心」を大切にして、鞆に住みたいと思う人を増やします。

#### ① 地域の繋がりを活かし、誰もが自分らしく輝き活躍できるまちづくりを進めます。

##### ■繋がりを活かすまちづくり

日々のつきあいや子どもや高齢者を含めた世代間の交流を大切にするとともに、スポーツや行事を通して地域の繋がりを深めます。また、個人や団体、町内会などが行うさまざまな取り組みについて、町全体での情報共有を進めます。

<行政の下支え>

- ・公民館を中心としていろいろなグループや団体の連携を図るとともに、それぞれの活動の情報が町全体に伝わるようにします。
- ・地域交流施設の整備を支援します。

##### ■高齢者にやさしいまちづくり

元気にいきいきと暮らせるようサロンや健康教室など交流や相談の場を提供するとともに、買い物支援や行事への参加など高齢者の暮らしを支えます。

<行政の下支え>

- ・総合相談窓口として地域包括支援センターを運営します。
- ・医師、看護師、介護福祉士などの専門職が自立した生活をサポートします。
- ・要支援・要介護認定の高齢者世帯等に配食サービスなどの生活支援を行います。
- ・地域、民間での高齢者等の外出・買い物支援活動を支援します。

### ■全員参加のまちづくり

鞆に住む人、鞆で働く人、子ども、若者から高齢者まで一人ひとりが、まちづくりやまちの魅力発信における役割を持ち、地域福祉活動、観光ボランティアガイド、祭りや行事の運営や手伝いなどを行う「全員参加」のまちづくりを進めます。

ゆずりあい、認めあいの気持ちを大切に、一人ひとりが培ってきた経験や能力をまちづくりに活かすとともに、個人や団体が行うさまざまな取り組みを応援し、地域の支えとしてまちづくりに活かします。

<行政の下支え>

- ・外国人や障がいのある人が自然に暮らせるよう支援します。
- ・まちづくりサポートセンターにより各種まちづくり活動を支援します。



- ② **子育てしやすいまちづくりを通じ、将来の鞆を担う子どもが地域に愛着を持ち、夢を育み育つことのできる環境をつくります。**

### ■子育てにやさしいまちづくり

安心して子育てできる環境をつくるとともに、子育て世代の負担となっている高校通学の支援など地域全体で子どもを守り育むまちづくりを進めます。

<行政の下支え>

- ・専門家などによる妊娠から育児までの支援を行います。
- ・就学支援制度により高等学校授業料無償化や就学援助などの支援を行います。

### ■魅力ある子育て環境づくり

町外の子どものとの交流を進めるなど、子どもがのびのびと活動、活躍する環境をつくるとともに、鞆こども園や義務教育学校の活動と地域の取り組みとの連携を図り、町外の人が鞆で子どもを育てたいと思うような特色ある保育や学びを支援します。

<行政の下支え>

- ・義務教育学校の整備を行うとともに、地域と一体となって郷土愛を育めるよう教育内容を充実します。(英語教育の充実、鞆の魅力発信、伝統芸能の継承など)
- ・他の小中学校との交流を進めます。



### ③ 鞆に暮らす人も訪れる人も快適に過ごし、多様性を認めあうまちづくりを進めます。

#### ■おもてなしのまちづくり

「おもてなしの心」は昔から鞆のまちにあふれています。鞆に暮らす人の生活を大切にしながら、行事やイベントへ町外の人への参加を受け入れる、また、「鞆で働きたい」、「鞆で暮らしたい」という人を温かく迎え入れるやさしいまちをつくりたい。

観光ボランティアガイドの研修会や子どもや外国語でのガイドへの取り組みを企画するなど、ガイドの活動を継続、拡大します。

おもてなしの心を大切にした観光客への親切な対応、案内や情報発信を通して、「来てよかった」、「好きになった」、「応援したくなった」、「住みたくなった」と言われるまちづくりを進めます。

#### <行政の下支え>

- ・ ホームページ、SNS、フィルムコミッション、広域イベントなどで鞆をPRします。また、情報発信の多言語化を進めます。
- ・ 駐車場、トイレ、ベンチ、休憩所など観光客の散策環境を整備します。
- ・ 移住・定住に向けた空き家の活用を支援します。
- ・ 歴史・文化を活用した地域活性化の取り組みを支援します。



#### (4) まちづくりの体制

ワークショップにおいて、町内会や個人、団体が行うまちづくりの取り組みについて、たくさんの意見やアイデアが出ました。子どもたちから高齢者まで各世代が連携した「全員参加」のまちづくりをめざす中で、みんなの知恵や提案をまちづくりに反映しやすい体制づくりを行います。

- ① 子どもたちから高齢者までの各世代、また、組織、団体など多様な主体が連携したまちづくりを進めます。
- ② 鞆の未来のために、鞆の浦学園、鞆こども園を大切なまちづくりの主体として位置付けます。
- ③ 鞆まちづくりビジョン実現のための体制や役割を明確にし、短期的な取り組みと中長期的な取り組みを計画的に行います。

#### <行政の下支え>

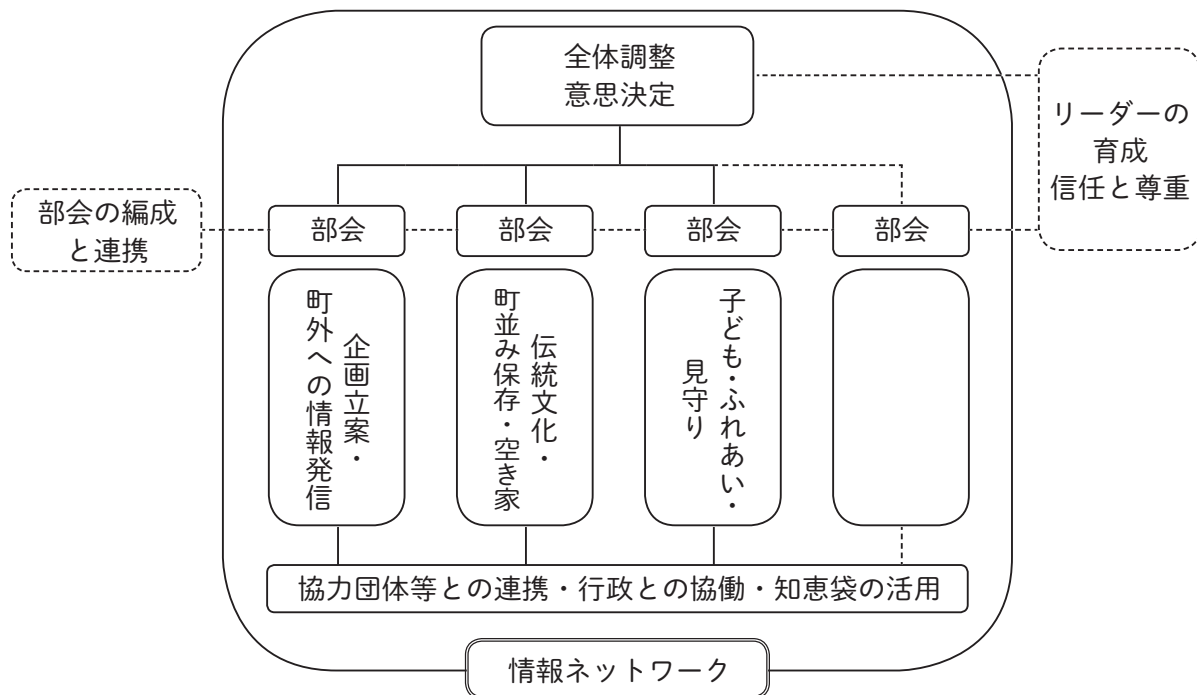
- ・地域の独自性を活かした様々な取り組みを支援します。
- ・まちづくりに繋がる各種事業に対して「鞆地区まちづくり基金」を活用します。

※鞆地区まちづくり基金とは、現在、伝統的建造物の修理修景など町並み保存に活用している「福山市歴史的町並み保存基金」を拡充して、歴史的文化資産の保全・活用や地域交流活動の促進などのまちづくり支援をはじめとした事業を支援するために広島県が創設し、福山市が管理・運営することを検討しているものです。



## まちづくりの体制イメージ

ワークショップからの提案	体制づくりのキーワード
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆どの提案を採用するか話し合う場</li> <li>◆どの団体・組織が中心として取り組むかを定める場</li> <li>◆団体代表者の連携</li> </ul>	<p style="text-align: center;">全体調整 意思決定</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆取り組み状況を町内に周知すること</li> <li>◆部会毎の取り組みを町内に発信、共有すること</li> </ul>	<p style="text-align: center;">情報ネットワーク</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆事業者や協力団体との連携</li> </ul>	<p style="text-align: center;">協力団体等との連携</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆行政との協働</li> </ul>	<p style="text-align: center;">行政との協働</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆部会の編成</li> <li>◆部会毎の活動を連携させること</li> </ul>	<p style="text-align: center;">部会の編成と連携</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆世代毎に集まる場</li> <li>◆各部会、リーダーの町内での信任</li> </ul>	<p style="text-align: center;">リーダーの育成 信任と尊重</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆分野毎の得意な人、興味のある人が集まる場</li> </ul>	<p style="text-align: center;">知恵袋の活用</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆観光プランを企画する</li> <li>◆観光客の受け入れ体制・窓口、空き家の活用</li> <li>◆ファンを増やし、繋ぎとめる情報発信</li> </ul>	<p style="text-align: center;">企画立案 町外への情報発信</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>◆町並み保存</li> </ul>	<p style="text-align: center;">町並み保存</p>



まちづくりの体制イメージ図

## (5) 実現を下支えする行政の対応

福山市は、鞆まちづくりビジョンに係る地域のさまざまな取り組みが実現できるよう、地域と協働して着実に進めます。

町中交通処理対策、防災に係わるインフラ整備及び文化財の保護など行政が主体となって実施する事業については、地域の協力のもと、国や広島県など関係機関と連携しながら実現をめざします。

① 歩行者と車、自転車、バイク等が安全に安心して通れる生活道を含む交通システムを構築します。

② 良好な保育・教育環境の形成や、地域活動拠点の整備、遊休公共施設の活用などを通じ、まちづくりの仕組みづくりを支援します。

③ 高潮や土砂災害等の自然災害への備えや、防災体制の維持・強化など、行政が住民と協働して行うべき防災対策を計画的に行います。

④ 鞆の人々が安心して暮らせるインフラ整備を推進します。

## 靱まちづくりビジョンの実現を下支えする主な取り組み

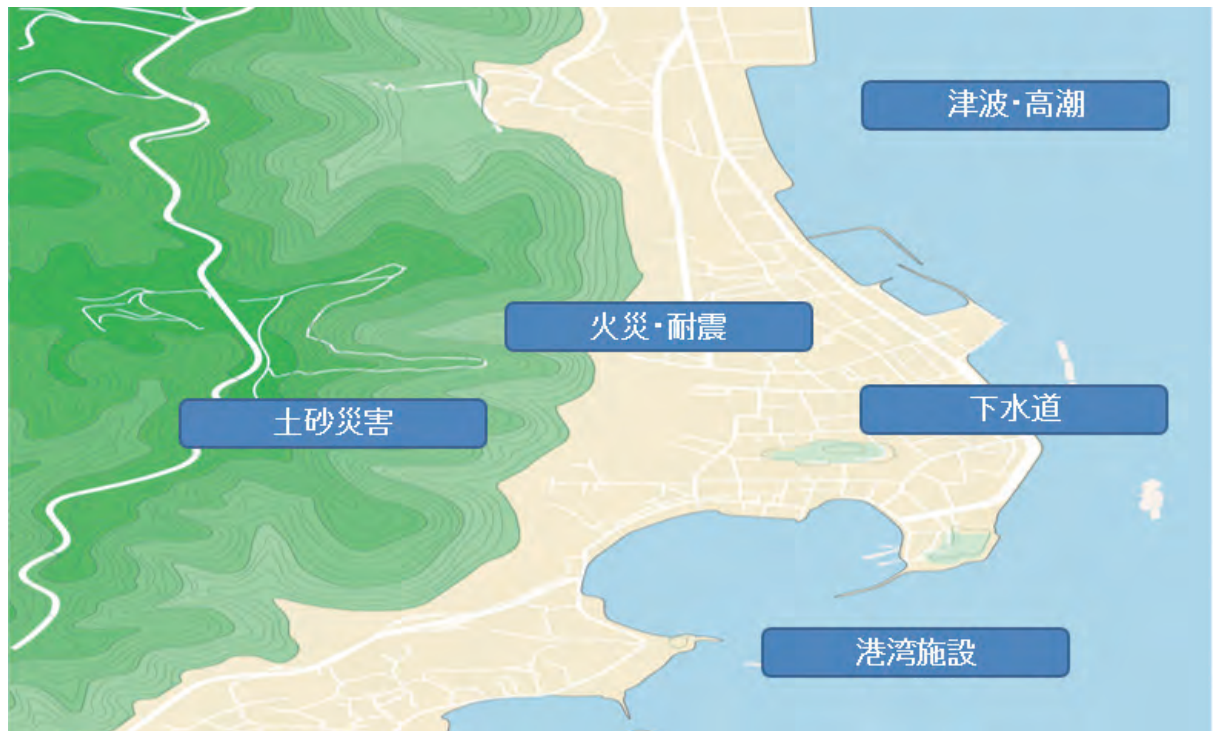
### (1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり (1/2)



#### 安全な道づくり

- 通行困難箇所対策
  - ・ 道路幅員が狭い路線における待避所の確保
  - ・ 狭窄区間の道路拡幅
- 無電柱化
  - ・ 安全で快適な歩行空間の確保や景観の向上のための無電柱化
- 道路の修繕と美装化
  - ・ 舗装が痛んでいる箇所の修繕と景観に配慮した道路の美装化
- 抜本的な交通処理対策
  - ・ 山側トンネルなど町中の交通量を減らすための抜本的な交通処理対策の検討
- 駐車場等の整備
  - ・ 駐車場整備（靱町東側での埋立駐車場）
  - ・ 海の駅整備（靱町西側での駐車場、バス転回場及び観光交流拠点）
- 交通システムの検討
  - ・ 一方向通行など町中の混雑を減らすための交通システムの検討

(1) 安心・安全に暮らし続ける環境づくり (2/2)



<p>賑わいの 場づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 港湾施設の整備</li> <li>・ 湾内での小型船だまり埠頭・フェリー埠頭等の整備</li> </ul>
<p>暮らし続けられる 住環境づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 下水道の整備</li> <li>・ 生活環境の改善と海の水質保全のための下水道の整備</li> </ul>
<p>災害に強い まちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 防災広場の整備</li> <li>・ 伝統的建造物群保存地区を中心とする密集市街地における一時避難場所や緊急車両通路の機能も持った防災拠点の整備及び休憩場所の確保</li> <li>● 防火設備の設置</li> <li>・ 防火水槽の整備や消火栓ホース格納庫の設置補助</li> <li>● 高潮対策</li> <li>・ 標高の低い沿岸部への海岸保全施設（防潮堤・防潮ゲートなど）の整備</li> <li>● 土砂災害防止対策</li> <li>・ 土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定</li> <li>・ 土石流危険渓流への治山・砂防施設の整備</li> <li>● ハザードマップの作成と活用</li> <li>・ 地震、津波及び土砂災害ハザードマップの作成と防災体制への活用</li> </ul>

## (2) 伝統・文化を受け継ぐ



<p>歴史・文化を活かすまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福山市鞆町伝統的建造物群保存地区保存計画に基づく修理・修景</li> <li>・伝建建物などの効果的な修理・修景の補助</li> <li>●文化財の保護</li> <li>・文化庁等と連携した文化財の保護</li> <li>●歴史的港湾施設の保全</li> <li>・常夜燈、雁木、波止及び焚場跡など歴史的港湾施設の保全</li> <li>●町並み保存拠点施設の整備</li> <li>・旧松本家を活用した町並み保存拠点施設の整備と運営支援</li> <li>・歴史民俗資料館と連携した歴史文化の継承</li> <li>●町並み保存組織の活動支援</li> <li>・地元主体の（仮称）町並み保存会の活動支援</li> <li>●建築基準法の適用の緩和</li> <li>・現状変更または用途変更する場合の建築基準法の制限の適用緩和</li> </ul>
<p>情報発信するまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●案内板・説明板の整備</li> <li>・重伝建や港湾施設などの案内板・説明板の整備</li> <li>●歴史・文化をテーマとした話題のPR</li> <li>・重要伝統的建造物群保存地区の選定、ユネスコ「世界の記憶」の登録など歴史・文化をテーマとした話題のPR</li> <li>●外国人への情報発信</li> <li>・海外・外国人へ向けての歴史・文化の情報発信</li> </ul>
<p>伝統・文化を継承するまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●祭り・行事などの開催支援</li> <li>・祭り・行事など地域イベントの開催を支援</li> </ul>

(3) 出会い・ふれあい・支えあい (1/2)



高齢者に  
 やさしい  
 まちづくり

●高齢者の生活サポート

- ・総合相談窓口として地域包括支援センターを運営
- ・医師、看護師、介護福祉士などの専門職により自立した生活をサポート
- ・要支援・要介護認定の高齢者世帯等に配食サービスなどの生活支援
- ・地域、民間での高齢者等の外出・買い物支援活動を支援



### (3) 出会い・ふれあい・支えあい (2/2)



魅力ある  
子育て  
環境づくり

- 学校教育の充実
- ・義務教育学校の整備と地域と一体となって郷土愛を育む教育内容の充実

おもてなしの  
まちづくり

- 空き家の活用支援
- ・移住・定住に向けた空き家の活用支援
- 歴史・文化を活用した地域活性化の取り組み支援
- ・日本遺産認定への取り組みなど、歴史・文化を活用した観光PRによる知名度の向上と、様々な主体の協働による地域活力を向上する取り組みの支援

(4) まちづくりの体制



まちづくりの  
体制

- 地域独自の取り組み支援
  - ・学区まちづくり推進委員会が自主的・主体的に行う地域活動への補助
  - ・地域まちづくり計画に基づいて実施する事業への補助
- まちづくり基金の活用
  - ・鞆地区まちづくり基金の活用事業の拡大検討
  - ・財源確保策としての寄付募集等の仕組みづくり

## 第4章 ビジョン実現に向けて ～次世代へのメッセージ～

(第10回ワークショップ・アンケートでいただいた次世代の子どもたちへのメッセージなど)



- ◆ 鞆を愛し、次の世代にすてきなまちをバトンタッチしてください。
- ◆ 鞆に住んでいるとあたり前に感じているかもしれないけれど、やはり、町も人も鞆はすてきな所だと思います。大切なことをきちんと受けついでほしいです。
- ◆ 私は、生徒会長として今回あったことを全校生徒に伝え、鞆のことをみんなで考え、よりよくしていけるようにまとめたいと思いました。
- ◆ 今日の中学生の皆様との出会いは感動の一言です。真正面から取り組まれる姿勢に感動さえ。感謝申し上げます。
- ◆ 問題も多いけど防災意識を持ってください。
- ◆ みんなが熱く鞆を思ってください。
- ◆ 良い町
- ◆ 鞆が住みやすく、ワクワクするまちにしていくために、一緒になって取り組もう！
- ◆ 皆様が鞆町の町づくりになかよく協力し合って町づくりを行ってほしい。
- ◆ 若い人が参加されて嬉しいです。大人の背中を見て育つ。年齢でなく前向きに鞆のまちを支えていきたいです。
- ◆ 誰もが気軽に来れて、心が安らぐ町にしてほしい。
- ◆ 今日の話し合いで出たことが実現できれば、鞆がよりよい町になるので楽しみです。
- ◆ 私の子どもころ、鞆のことを語り教えられることは、戦時中、戦後の混乱期で全くなかった。鞆のことをしっかり勉強し、鞆をほこりをもってほしい。
- ◆ 鞆にいつまでも住みたいと思う。まちづくりをやっていきます！
- ◆ いいまちづくりとなり、町自体として活性化されればと思います。今日参加していた中学生をみて頼もしく思いました。中学生の発言はすばらしくて驚きました。
- ◆ 協働、思いやり
- ◆ 意見を自由にたくさん言ってください。それを実現するために創造して行ってほしい。鞆に帰って暮らしてね。
- ◆ 鞆の浦学園が鞆限定ではなく、広い地域から入れたら、子どもの数が増えていく。教育面での行政の支援を期待します。
- ◆ あなたの子どもを戻さないと、その子どもも帰ってこなくなりますよ。
- ◆ 「次世代」ももちろん大事です。でも、今世代の我々ができることを行ってから、次世代につなげていきたいと思います。
- ◆ 鞆の良い文化伝統をぜひ未来につなげて行ってください。応援しています。
- ◆ 10年後人口減少が明らかである。その対策を考えなくてはメッセージ考えられない。
- ◆ 鞆に誇りを持って、この地域で生きて行ってほしい。働く場所がくれたら、未来に生きる子が生きやすくなるかも。地域への愛着をもってもらえるよう、家庭・地域で大切に子育てをしていきたい。やさしい町になるよう努めたい。
- ◆ 参加された中学生が「鞆に生まれて良かった」と言っていたが、真剣な大人の姿を見てもらうことは大切だと思った。



鞆まちづくりビジョン

策定 2018年（平成30年）3月

発行 2018年（平成30年）6月

発行 福山市

- 事務局 福山市建設局都市部都市計画課（鞆まちづくり推進担当）
- 協力 鞆学区まちづくり推進委員会
- コーディネーター 一般社団法人コンセンサス・コーディネーターズ（代表理事 桑子 敏雄）

